

2020年12月7日(月)

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

代表理事・会長 齊藤 斗志二

2024年夏季オリンピック・パリ大会 ダンススポーツ・ブレイキン 競技種目採用について

国際オリンピック委員会（IOC）理事会において 2024年パリ大会の追加競技として「ブレイキン」（別称ブレイクダンス）が正式に採用されたとの報告が、IFである世界ダンススポーツ連盟（WDSF : World DanceSport Federation）よりありました。

WDSFでは、様々なダンスを「スポーツ」として整備するとともに、オリンピック・パラリンピック競技化を目指しており、2018年10月のユース・オリンピック（ブエノスアイレス大会）でのブレイキンの成功を経て準備してきた成果として、まことに嬉しい限りです。

ブレイキンは、音楽に合わせて男女や貧富の差がなく自由に身体表現ができ、どこでも競えることから、若年層を中心に全世界で普及しておりますが、組織的な整備が遅れておりました。当連盟ではブレイクダンス本部（石川勝之本部長）を中心に活動を展開しており、2018年5月に世界初となる「世界ユース・ブレイキン選手権 in 川崎」を開催したほか、中長期計画に基づくクロスジャンルのダンス普及施策の一環として昨年7月に開催した「アジアダンススポーツゲームズ in 高崎」では、アジア各国のブレイキン組織を活性化させる支援も行うなど、スポーツとしてのブレイキンの普及と環境づくりに取り組んでまいりました。

国内においては全日本選手権や6ブロック選手権を実施しておりますが、特に本年からJOCジュニアオリンピックカップを実施するなど若年層の育成にも力を入れるとともに、各都道府県連盟にブレイクダンス部を設置して将来に向けた底辺の拡大に努めているところです。

日本は2018年のユースオリンピック以来、FISE 広島、昨年の世界選手権（南京）、World Urban Games（ハンガリー）と続けて金メダルを獲得してきており、2024年に向けて選手育成に注力して行きたいと考えております。

詳細につきましては、別途ご案内の通り12月14日（月）に川崎市にて記者発表を予定しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟事務局

TEL 03-6457-1858 FAX 03-6457-1857

Eメール breaking@jdsf.or.jp（ブレイクダンス本部広報）